

2000

環境報告書

省エネルギー

材料メーカーである当社は、生産活動において多くのエネルギーを消費しています。生産活動にともなうエネルギー消費量を低減することは、当社にとって重要な課題であり石油ショック以来継続的に省エネルギー活動に取り組んできました。省エネルギー活動の効果をはかる指標として当社では売上高原単位を使用し、「売上高原単位を2000年までに1990年の115%削減する」という削減目標をたてて活動しています。

しかしながら製品価格低落の影響を受け、製造数量(生産活動)と結びつかなくなってきたため、そのままでは指標として有効ではないと判断し、価格補正を行った売上高原単位を使用することにしました。

新しい指標を用いた結果、1999年度は売上の落ち込みがあり前年に引き続き悪化しましたが、1990年比13%削減となりました。

省エネルギー設備投資として1999年度は、NEDOの補助を受けて電気加熱式炉をガス化高性能工業炉に転換しました。その他の炉についても電気加熱方式から燃料加熱方式へと転換をはかりました。また、空気調整設備のエネルギー消費削減や各種モーターのインバーター化の設備投資を引き続き実施しました。

エネルギー消費量と原単位推移

